

## 01

川西市地域分権推進事業 ニュースレター

## 第1回地域夢・未来カフェ in 東谷

地域分権制度の検討の一環として、地域課題の解決に向けた具体的な活動案を考えながら、地域分権制度についての意見をいただくため「第1回地域夢・未来カフェ in 東谷」が開催されました。

日時：2013年1月18日（金）19:30～21:30

場所：東谷公民館

参加人数：市民18名

## 当日のスケジュール

- 19:30 開会、あいさつ（総合政策部長）
- 19:35 昨年度懇談会の概要について
- 19:50 フォーラム及びテーブルワークの概要について
- 20:10 イントロ（川西クイズ）
- 20:15 テーブルワーク①『地域の課題について』
- 20:45 テーブルワーク②『実現に向けた取組について』
- 21:30 閉会

## あいさつ・昨年度懇談会の概要について

総合政策部の本荘部長からのあいさつの後、地域分権制度の構築に向けての説明がありました。地域分権が推進される社会的背景や必要性とともに、今年度策定される第5次川西市総合計画における地域別構想の位置づけについても触れられました。

また、これから3回にわたり開催される地域夢・未来カフェの目的や昨年度実施された地域別懇談会との関係などについても説明がありました。



## 地域分権制度とは

市の持続的な発展を図っていくためには、行政の力だけでは限界があります。そこで、これまで行政が主導して担ってきた地域の課題に対し、地域住民自らがその解決にあたるために、一定の権限や財源を地域へ移譲する制度です。

## フォーラム及びテーブルワークの概要について

キックオフイベントとして9月15日に開催された「かわにし夢・未来フォーラム」の報告がありました。地縁型組織とNPOやボランティアなどのテーマ型組織の連携の必要性、面識社会の回復の重要性、市職員の果たすべき役割などについての意見交換が行われたとの説明がありました。

次に、カフェでのテーブルワークの方法についての説明がありました。まず、昨年度実施された懇談会の結果をふりかえり、「地域の課題」や「地域のありたい姿を実現するための取組」の内容を共有しました。その上で、2種類の色のシールを使って投票しながら、特に重要な課題や取組をみんなで議論し、検討していくという流れの説明がありました。

テーブルワークに入る直前には、イントロダクションとして、日本全体や川西市の状況についてのクイズが出題されました。



## テーブルワーク

後半は、3つのグループに分かれてテーブルワークを行い、さまざまな意見を出した後に、特に重要な課題と取組を投票しました。地域のつながりや交流に関しては、課題と取組両方で重要度が高くなっており、子育て支援は課題で、地域ブランドを活かした活動については取組でそれぞれ高くなっています。



### ◆地域の課題について（重要だと思う課題を1人3点選ぶ）

地域の課題	点数	地域の課題	点数
●みんなが関心を持つようなコミュニティに	22	●子どもがのびのび育つ場所の確保	17
●まちづくり、基盤整備	15	●もっと福祉を	4
●美しい地域を保つ	3		

●追加された主な意見 ・高齢者の災害時の安否確認の地図(1) ・山下駅から笹部道路に車がいけない(1) ・新旧住民の確執 ・集う場所がない  
・田んぼの減少、コンクリート化に伴う雨水対策(1) ・公園が少ない ・自治会加入率が低い ・コミュニティのPR不足 ・買物難民 ・10年後が心配など

### ◆地域のありたい姿を実現するための取組について（重要だと思う取組を1人5点選ぶ） ※0点の項目は削除

実現に向けた取組	点数	実現に向けた取組	点数
<b>●豊かな自然や資源を生かした「東谷ブランド」のあるまち &lt;19&gt;</b>			
黒川に宿泊施設を作って星を見る	1	東谷の自然環境をよく知る取り組み(鑑賞会)	3
黒川の取り組み支援	2	黒川の黒豆を全国発信して、篠山に行かせない	1
笹部(城山)、東睦野地区のことをよく知ってもらうイベント	1	ホテルを育てる	1
とんど焼きを地域のイベントとしてみんなで楽しく	1	自然を活かした遊び場の充実(管理できる体制と場所)	7
お寺、神社の緑の空間を利用	2		
<b>●みんなが絆で結ばれるまち &lt;19&gt;</b>			
体育祭、納涼祭の推進	2	加入率向上の取り組み	5
助け合い(見守り)の組織を作ることで、自治会員を増やす	4	世代交替、若い人材の発掘、登用	3
リーダーとそれを補佐する人を増やす	1	評論家はいない(自分が何ができるか、何をするか)	3
あいさつ、声かけ運動の推進	1		
<b>●自分たちでできることは自分たちでする活気あるまち &lt;18&gt;</b>			
雇用の場を地域内に作る	1	農業生産法人をつくる	1
高齢者の働く場の創造(個人の能力の活用、収入の確保)	2	休耕農地の活用	1
市職員の意識の改革	5	要望型から参加型への市民の意識改革	1
市政情報の積極的な開示と提供	1	リタイヤした人の能力の活用	3
コミュニティ交通の取り組み	3		
<b>●子どもたちの笑顔がある暮らし &lt;9&gt;</b>			
子どもの居場所づくり	1	子育て支援制度の創設(共働きをしやすくするための保育)	1
先生も教育委員会も自信(信念)を持って	1	教育は学校だけでなく地域ぐるみで	1
空き地などの有効活用(公園、遊び場)	1	安全な通学路	2
親の自覚(プライド、恥じらい)	2		
<b>●大人、高齢者、障がい者が生き生きと暮らせるまち &lt;9&gt;</b>			
高齢者の居場所づくりの拡充	1	多世代の交流	4
民生委員、福祉委員ボランティアを増やす	1	地元の食材を地元で調理する	2
老人の話を聞く会を開催する	1		
<b>●その他 &lt;14&gt;</b>			
生活道路の整備	6	道路、公園、駅前広場等の整備駅前広場を作り、国道まで車でいけるようにする	14
バリアフリーの推進	2	道路の重要性、土地を持っている人は提供してください	1

●追加された主な意見 ・子ども会への参加などの親の意識(1)、コミュニティビジネス ・有償ボランティアや生きがい ・高齢者大学 ・団体間の連携  
・スキル、できることを活かす場所をつくる ・青年団、婦人会、女性会をつくる ・3世代交流 ・地域の情報を掲載した広報誌づくり など